

県定着度調査の結果から

1月12日（木）に行われた定着度調査から次のような課題が浮き彫りになりました。

国語

- ・漢字の筆順が不正確で形も正しく書けていない。
- ・作文の問題では、句読点を書き忘れたり、改行が正しくできていなかったりした。
- ・文章問題では、話の筋に従って読むことができなかったり、問題の意味を押さえた読みができなかったりした。
- ・修飾、被修飾語と主語、述語が混乱している。
- ・日常あまり使わない言葉の意味が理解できていない。

算数

- ・四則計算（足し算、引き算、掛け算、割り算）のやり方はわかっているが、ちょっとしたミスをしている。
- ・図形の特徴を正しく理解できていないため、円の半径を見付けたり、直角三角形を複数見付け出したりすることができない。
- ・文章問題から、どの四則計算になるのかを正しく判断できない。（求められている内容を読み取れない。）

こうした結果から、今後は次のようなことを指導していききたいと思います。

国語

- ・漢字や平仮名、片仮名の指導をする際、筆順や間違えやすい部分を正確に指導する。また、確実に定着するよう反復練習をきちんと行っていく。
- ・普段の授業やテスト、作文指導において、句読点をきちんとつける、正しく書く、改行の仕方、主語・述語・修飾語等を繰り返し指導する。

算数

- ・四則計算がきちんとできるように反復練習を繰り返し行う。
- ・図形の問題では、三角定規やコンパス、分度器などを常に正しく使う習慣をつけていく。
- ・図形や立体の基礎基本をきちんと指導していく。
- ・立体模型やはかりなど実物を活用し、形や目盛りがきちんと理解できるようにしていく。

また、文章の意味内容をきちんと読み取れるようにするには、読書が有効です。少しでも多くの本を読みたくなるような取り組みを考えていきたいと思います。

基礎・基本を定着させるには、何よりも反復練習が大切になります。学校はもちろん、御家庭で宿題をきちんと行うことも重要になりますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。

